

2017.3

ディスクロージャー誌

HOKKOKU BANK
DISCLOSURE

2 0 1 7



ごあいさつ

皆さまには、平素より北國銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成29年3月期における業績や最近の当行の取組みを掲載しました「ディスクロージャー誌2017」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いに存じます。

日本経済は、経済財政政策が機能し、企業収益や雇用・所得環境の改善が進みましたが、個人消費は消費者マインドが足踏みし、民間設備投資も自粛する動きがみられ、個人消費や設備投資が伸び悩みました。また、中国経済をはじめとして新興国経済の景気減速が続いていることから、国内経済は総じて弱含みで推移いたしました。

一方、当地経済は新幹線開業後も地域の賑わいは持続し、観光関連は順調に推移しております。また、不足する宿泊施設の新たな建設ラッシュが進んでおります。製造業の生産についても徐々に回復してきており、全体的に緩やかな回復基調が続いております。

地域では、少子高齢化や人口の都市部集中などで、市場縮小や労働力不足が懸念されております。私たちは、地域社会や個々の企業をはじめとしたお取引先への総合的・多面的なソリューション営業の展開により、地域の生産性向上に努めております。特に、ICT導入、金融とITを融合させたフィンテックによる効率化などの提案に力を注いでいます。地域全体に向けても、カード加盟店サービス業務、Visaデビットカードの取扱いを同時に展開することにより、キャッシュレス環境の整備を進めております。

また、海外展開を目指すお取引先へ東南アジア地域の拠点となるシンガポール支店で、海外進出、販路拡大など総合的なサポートを実践しております。国内外でのコンサルティング機能を充実させ、皆さまの課題解決に積極的に取り組んでまいります。

当地域は、北陸新幹線の開業から2周年を迎え、金沢を中心とした賑わいは途切れることなく広がりをみせております。私たち役職員は、この賑わいを持続していくよう地域の皆さまとともに考え行動し、健全な業務運営を保ちながら地域社会の発展に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成29年7月



取締役頭取

安宅 建樹